



広報

しちのへ

平成22年

1 月号

2010 January No.58

<http://www.town.shichinohe.aomori.jp>



謹賀新年

東北新幹線七戸十和田駅 開業1年前イベント開催

CONTENTS

2～3	新年のあいさつ
4～8	町政座談会
9～10	まちのできごとあれこれ
11～15	行政のひろば
16～17	保健情報
18	いきいきひろば
19	スポーツ情報
20～23	お知らせ

12月5、6日、道の駅しちのへ北側駐車場において『東北新幹線七戸十和田駅開業1年前記念イベント』が開催されました。会場では垂れ幕の除幕式が行われ、特設ステージでは八甲田太鼓による祝太鼓が会場を盛り上げました。また仮設テントでは近隣市町村からの自慢の特産物が並び、たくさんの来場者で賑わいました。

また、一般公開された駅舎見学には行列ができ、来年の開業へ向けて町民の期待が一層高まったようでした。

新年の

ごあいさつ

七戸町長
小 又 勉

新年明けましておめでとう
ございます。

町民の皆様におかれまして
は、輝かしい希望に満ちた新
春をお迎えのことと心からお
慶び申し上げますと共に、常
日頃から町政の各般に亘るご
理解とご支援に対し、厚くお
礼申し上げます。

昨年四月二十四日に町長に
就任以来、八ヶ月が過ぎまし
たが、町政全般にわたり順調
に推移いたしております。

昨年を顧みますと、アメリ
カ発の金融危機が世界的な不
況へと発展し、我が国の景気
の後退も鮮明となり、極めて
憂慮すべき状態となりました。
そして、国内においては、政

権交代が現実のものとなりま
した。新政権が目指す方向が
不透明な現在、これからは注
意深く見守りながらの行財政
の運営になるうかと思えます。
一方、当町の財政は依然と
厳しく、町民の皆様の要望に
対しても厳しい対応しかでき
ない状態ではありますが、私
は未来を展望し、可能な限り
行財政改革を果敢に断行し、
無駄を省き、希望もてる町
づくりのため頑張つていく決
意を致しております。

本年十二月、町民の長年の
悲願でありました、東北新幹
線「七戸十和田駅」がいよいよ
開業いたします。

新幹線開業によって、确实
に発生する交流人口をどのよ
うにして当町の活性化に結び
つけていくのか、本年は正念
場となります。

開業効果を最大限享受でき
るよう、開業前、開業時、開
業後と多様な戦略を波状的に
展開してまいります。

そして、本町の基幹産業で
あります農林・畜産業と商工
業の振興についても、新幹線
開業を最大限に活用し、大き
な発展につなげていかなけれ
ばならないと考えております。

最近、輸入農産物や食品
から残留農薬や有害物質が検
出され、その危険性が社会を
揺るがしています。そんな不
安から国内農業が見直され、
農産物の自給率の向上などが
叫ばれております。

私たちは、このような変化
の兆しを町の農業振興の絶好
の機会として捉え、高い品質
のものを安定的に供給し、安
心・安全な産地としての地位
を確立しなければなりません。
更に、これまでの作るだけの
農業から多様な食品加工、多
彩な販売戦略を通し、付加価
値を高め、就業の場を生み出
す農業の「第六次産業化」を
推進してまいります。

また、商工業も郊外の大形
店や人口の減少、少子高齢化
などにより、農林業に劣らず
厳しい環境にあります。新
幹線駅開業を契機に、史跡や
景観を最大限活用した観光資
源の開発や、隣接市町村との
連携を深め、交流人口の拡大
を図ることにより、商工観光
の振興に努めなければならな
いと考えております。

そして、少子高齢化は、非
常に重要な問題です。人口の
減少を招き、町の活力の衰退

に繋がることから、安心して
暮らせる町の実現に努めると
ともに、若者の定住につなが
る雇用対策、住環境の整備を
より一層推進していくことと
しております。

政権交代により、上北横断
道路や下北縦貫道路の先行き
が不透明になりましたが、ど
ちらも県都へつながる基幹道
路であることから、工事が推
進されるものと確信しており
ます。

このことから我が町は、新
幹線をはじめ、上北横断道路、
下北縦貫道路等の完成の暁に
は、上十三地方の高速交通の
結節点としての機能を備える
こととなります。

この高速交通の結節点とし
てのポテンシャルを具現化し
ていくことが、我々に課され
た大きな課題であります。が、
我が町は、夢と希望にあふれ、
大きく発展していく無限の可
能性を秘めた町であります。

平成二十三年が、その夢に
向かつて着実に前進する年にな
りますことと、町民の皆様
にとりまして、健康で実り多
い一年となりますよう心から
お祈り申し上げます。新年
のご挨拶といたします。

議会を代表し

新年のごあいさつ

七戸町議会議長
田中正樹

新年明けましておめでとう
ございます。

町民の皆様には、日ごろか
ら町政に対するご理解と協
力を賜り、厚くお礼申し上げ
ます。お蔭をもちまして、昨
年も着実に発展への基盤を固
めてまいりましたが、ここに
新年を迎え、本町の一段の躍
進を期して、清新の気がみな

ぎるのを覚えます。

昨年を振り返りますと、社
会経済情勢は、依然として長
引く不況による所得の減少と
雇用不安が続いており、誠に
厳しいものでした。その中で
四月の町長選挙において、新
町長が誕生し新執行体制の下、
新たな町政運営がスタートし
ました。また、八月の総選挙

では、本格的な政権交代が行
われ新政権が発足する等、ま
さしく激動の一年でございま
した。

さて、新政権の方針の一つ
に「地域主権」の確立が掲げ
られ、国の権限や財源を地方
へ大胆な移譲を進め、国と地
方の関係を抜本的に転換する
としている一方で、公共事業
の大幅削減や道路新規事業の
凍結の方針が示されているこ
とから、町の新年度予算編成
等に影響が出ないのか懸念さ
れるところです。

また、現在の経済・雇用情
勢は、大変厳しい局面が続い
ており、当面の景気対策につ
いては、国・地方が連携した
対応が求められているところ
です。

今、町の財政は依然として
非常に厳しい状況にあり、さ
らに、少子高齢化などによる
人口の減少が続いていること
から、積極的な行財政改革を
行うことにより、財政健全化
を堅持することがより強く求

められております。

このような状況にあっても、
最重要課題は東北新幹線「七
戸十和田駅」周辺の整備でこ
ざいます。十二月開業が目前
となり、町民の期待が目毎に
高まってきている中、整備の
目玉となる観光交流センター
は九月完成予定で進められて
いるところです。これからが
開業までの正念場であり、開
業効果を最大限引き出すため
ハード・ソフト両面において
万全な態勢で取り組みなけれ
ばならないところです。同時
に道の駅に隣接する農産物直
売施設の増設も順調に進んで
おり、三月に完成することか
ら、新幹線駅前の中核施設に
なることが期待されておりま
す。

また、学校教育の充実、基
幹産業である農業振興や商工
業振興をはじめ、少子高齢化
に対応した各種懸案事項も確
実に前進させなければならな
いものと思います。

現在、上北横断道路の整備

に着手しておりますが、接続
する天間林道路について、国
の新規事業凍結の方針が示さ
れていることから、事業化で
きるように、粘り強く国・県
に働きかけていかなければな
らないと思います。

議会の使命と役割は、町民
皆様のための町行政の政策で
ある予算や条例などを議決す
ると共に、行政の進め方や事
業の運営が適正かつ公平に行
われているか監視していくこ
とにあります。

本年も課題は山積しており
ますが、町民皆様の負託に応
えるため、全議員そして行政
当局と連携を図りながら、町
民の皆様信頼され開かれた
議会を目指してまいりたいと
存じます。

結びに、本年が町民の皆様
にとりまして、幸せ多い年で
ありますよう心からお祈りす
るとともに、併せて相変わら
ぬご支援とご協力をお願い申
し上げまして、新年のご挨拶
といたします。

平成21年度 町政座談会が開催されました

「平成21年度町政座談会」が11月9日～11月30日まで、町内8会場で開催されました。

各会場では小又町長が町政全般にわたる重要施策を述べた後、参加した町民の皆さんと意見交換を行いました。

1月号では前半4会場で行われた座談会の要旨をご紹介します、2月号に後半、4会場の内容と、事前に提出された質問と回答を掲載します。（Qは質問・要望、Aは回答）

〔上川目 生活改善センター〕

Q

&

A



と協議が必要なので、農林課に相談いただきたい。

Q 道の駅の産直施設に出品するには年間20万円の売上というノルマがあると聞いた。新施設にもそういった制約があるか？

A 産直友の会で協議の上、決めている。新施設は指定管理で運営することになると思う。

町長A 商品の補充など工夫が必要であるため、出品の仕方など友の会へ提案したい。

Q 農業の戸別所得補償制度について、どう変わるのか？

A 現在の時点では県から通達などないので、具体的なものはない。わかっていない。

Q 道地から放牧地への町道が傷んでいる

A 砂利道であれば碎石補充及びグレーダーかけなど補修をしている。現地を見て対応したい。

Q あぜりあ苑から奥の道路にゴミの不法投棄が増えている。

A 昨年度から見回りして看板などを立てているが、立ち会いの下、現地確認したい。

Q 成田商店から城西の杜の間に街路灯の設置を要望しているがまだつかない。

A 平成18年に要望を受けているが、年間8基の予算なので行き届いてない。民地なので承諾書をいただいてから発注設置したい。

Q 高屋敷98から八尺堂へ繋がる道路を舗装して欲しい。

A 生活道路の舗装を優先的にやっている。要望の箇所までまわらないのが現状。ご理解いただきたい。

Q 文化交流センターは将来どのようにするのか？

A 現在、史跡の資料など展示して小・中学生など学習に利用しているが、具体的な計画はない。

Q 新幹線南側の道路のアクセスは？

A 国道394号を含めて今後検討する。県への要望は行っており、道路案内看板は検討している。

Q 川に公園があるが、藪になっている。管理はどこになるのか？

A 県の管理なので相談する。

Q 来年、山桜の会で新幹線開業記念植樹をしたいと考えている。補助などがあれば助かる。県に問い合わせたら、2つ

補助事業があるとのこと。

Q 国道が町を十字に渡っている町へは東西南北4つの入口がある。入口の案内板があれば良いと思う。

町長A バス観光ルートとしてとても良いルート。安全面も併せて要望しながら道路整備をして観光ルートとして活用したい。

Q 川の呼び名が上手は和田川、下手は七戸川、高瀬川というのはどういった名前か？

A 高瀬川水系和田川、高瀬川水系七戸川が正式呼称。

Q 道の駅や美術館などへの道をよく聞かれる。わんだむらんど辺りに案内板を設置できないか？

A 観光案内板の設置を県へ要望している。表示がわかりにくい部分の見直しも考えている。

Q 小・中学校統合後、生徒の状況はどうか？

A 現在いじめ、不登校などはない。学童保育は4月から場所を移した。19名登録があり、一日4～5名ほど参加している。

教育長A 学童保育の担当者が変わらぬから子どもたちも安心だと思う。

Q 橋から矢倉の農免道路が草刈をしたことないが、管理はどこか？

A 担当は農林課。現地確認して対応する。

Q 自宅前の私道が除雪で砂利を削られている。

A 碎石を補充するなど対応する。

〔中央公民館〕

Q 町政座談会への町民の参加が少ない。参加募集の工夫をしているのか？

A 昨年度から会場を増やし、2ヶ年かけて全域をまわる事としており今年度は8会場で開催している。去年今年の状況を踏まえ来年度以降の開催の持ち方を検討したい。

ただ時間も限られているのでワーキンググループなどのようにはいかない。この座談会や町内会、分館、各種団体などと懇談会も要請があれば行っている。座談会が全てでは無いと思っている。特に予算要求前に座談会を設定しているので、多く

の町民が参加出来るやり方で検討していきたい。

Q 南公民館の研修室に古い本があるが、鍵が掛かっており閲覧できない。どうしたら見られるか？中央図書館は落ち着いて閲覧できる状況にないが今後どうするのか？

A 管理上研修室の書棚には鍵を掛けているが、申し出があれば閲覧可能。整理をすすめている状態。図書館の今後の計画は行財政改革の中で検討していくと思われる。

Q 七戸町の一里塚を国指定を受けるようにしたらどうか？

A 天間館、蒼前に一里塚がある。国・県に相談の上、国指定になるように働きかけていきたい。

Q 図書室の図書が貸出禁止で、コピーもできない。資料としてコピーが欲しい。

A 貸出禁止の図書は資料として貴重なものなので貸出はできない。コピーに関しては対応を検討したい。

Q 新幹線は八戸〜青森駅間で何本通過するのか？七戸十和田



駅には何本停車するのか？

A 県、JRへ要望しているがまだ把握出来ない。ダイヤが確定しないとわからないが、七戸十和田駅には11本（往復22本）程度停車するものと県で想定している。JRには全列車（14〜15本）が停車するように要望していく。

Q 町屋新聞店前の道路がでこぼこのため、対向車がセンターラインに寄るので危険だ。なんとかならないか？

A 補修を繰り返している道路だが、経済危機対策臨時交付金で町屋新聞店から中央公園入り口まで舗装の打ち替え工事を年内実施予定。

Q 都市計画マスタープランと長期総合計画の違いはなにか？

A 七戸地区に都市計画があるが天間地区に無かった。新七戸町として都市計画を策定するということ。平成20年度都市計画の基本調査を行ってマスタープラン（基本計画）を作るためのワークショップなど開催している。町内からアンケートなどお願いして年度内策定を目指している。マスタープランと長期総合計画では長期総合計画が上位計画。それに準じた内容でマスタープランを作成する。

Q 長期計画策定するために役場がアンケートをとっている。今回は行政連絡員を通して依頼している。依頼書には年代別わりのアンケートの依頼があったが回収率はどのくらいか？行政連絡員を通さず無作為抽出でアンケートを行った方が良かったのではないかと調査結果の公表はするのか？今後の活用の見

通しはどうか？行政連絡員に文書で回答してほしい。

A アンケートにご協力ありがとうございました。結果を集計中だが、回収率は70%を越える。そのまま町民の意見を使えない部分もあり、考え方を反映させていきたいと思っているので、ご理解をお願いしたい。策定委員会、都市計画策定委員会報告後、依頼した町内会長、連絡員には集計結果の報告など考えている。

Q 七戸地区では新築した家に防災無線の受信機を取り付けるときに補助があると聞いたが事実か？旧天間地区の防災無線が風向きでほとんど聞こえない。受信機を付けるときに幹旋をして欲しいとお願いした経緯がある。その後どうなったか？

A 予備の受信機及び不要となった受信機を保管し新築の家に設置している。補助金は出していない。防災無線はアナログをデジタルにしないと更新の許可が下りず、デジタルだと全町で10億円はかかる見込み。いつできるかという事は財政の問題もあり、現在回答できない状況。

Q 上下水道なども凍結したりしている。優先順位はどうなっているか？

町長A 下水道の町内工事はストップしており、現在駅周辺を集中して行っている。それらが済み次第、順次検討していきたい。下水管を設置しても接続されない地区もあり料金の収入が上がってこない。状況も変わります。下水道事業が町の負担になっている。今後計画を充分考えて行っていくかなければならない。

Q イベントなどで中央公民館に入りきらないこともある。天間林体育館を文化ホールとして改装できないか。

町長A 優先度からいくと難しい。音響を考えると構造など相応な改修が必要であるため今後の財政の状況を見て検討したい。

Q 十和田工業の辺りからみた八幡岳の風景を駅か物産館に展示できないか。

A 小学生の描いたタイルというのはどこでみられるのか。

A 八甲田連峰の写真など物産館等で時期に合わせた展示を検討していきたい。小学生に描いてもらったタイルは、その様子

や貼付場所などパネルにして文化祭などで展示している。今後観光交流センターの中に展示していきたい。

Q 町が企業誘致してきた中で現在残っているのは何件か？今後の誘致の見通しは？

A 工業団地へ誘致もあつたがここ10年ほど進出の実績はない。現在8社が操業中。

町単独での誘致は難しいので、県で組織して知事のトップセールスを行って首都圏からの誘致活動をしている。今後の見通しは、今の企業はもつと広い敷地と工業大学などが隣接するなど人材豊富な場所でないといけない。ただ、環境を売りにした企業、景観、自然を大事にする企業の誘致に取り組んだ方がよいのではという県からのアドバイスもある。そのような企業誘致の方向にすすんでいきたい。

町長A 東京にある企業立地の担当者が見に来た。環境面なども良く、もしよければ県知事の一押しにしていきたいとのこと。また新幹線駅ができれば地の利も良くそういったところを活かした売り込みもしている。

〔白石地区 「コミュニティセンター」〕

Q 白石地区で環境整備を目標に活動を続けている。今後も更なるご協力を各課長にお願いしたい。

町長A 環境整備について要望があれば町で協力していきたい。

Q 白石地区コミュニティセンターの駐車場が施設から遠い。農村公園のモデル事業で建設しているから、期限などどうなっているのか、便利良くできないか。

A 農村公園整備との関連があるので農林課と白石地区の代表者と相談したい。駐車場を施設そばへ移すとなるとグラウンドをどうするかなど、相談したいと思う。

Q 防災無線からテスト放送のようなことや雑音が流れていた。古いのを更新する工事か？

A 正常に放送されているかのテスト放送を行っていた。

Q 防災無線が聞こえづらい。スピーカーを増設してほしい。聞こえない家に戸別の無線機があるのか？



A 天間林地区は戸別無線に対応していない。ハンザマスト方式で各地区から聞こえづらいとの苦情を受けている。ハンザマストを増やすために1本300〜400万円かかる。財政的な問題もあり対応できない。天間林地区を戸別無線対応にするためにはデジタル方式じゃないと許可が下りない上、全町で10億円以上かかるので検討中。

Q 農家戸別所得補償について内容など詳しく教えて欲しい。

A 現在の時点では、県から通達などないので、具体的なものはわかっていない。

Q 側溝が泥で埋まっている部分がたくさんある。ボランティアで集落の人がやっているが、

ふたのないU字溝は泥が溜まって大変だ。賃金を払って泥上げをしてもらったらどうか？

町長A 担当課でも見回りしているが、あまりひどい場合は連絡してもらいたい。

A 集落内はクリーン作戦などで対応してもらっているが人手では対応できないところは連絡をもらえれば業者による泥あげなどしたい。畑の方は泥で埋まっている部分もあると思うが住宅地を重点的に行っている。大変な部分は建設課に連絡をいたしたい。

Q 新幹線の開業イベントについて考えているか？

A 来年の12月の東北新幹線開業にはイベントの開催を計画している。今年の12月5、6日には1年前イベントとして道の駅の北側駐車場を会場に記念事業を計画している。11月号の広報にも掲載したが、ラジオ・テレビでもお知らせする。鉄道運輸機構の特段のご理解とご協力を頂き、駅舎見学も行う。新幹線に関して聞きたいことがあつたら、新幹線建設対策課へご連絡いただきたい。

Q 新幹線の試運転で東京まで片道運転で乗せると聞いたが？

A 現在、線路が全て繋がり、点検作業を進めている。来年4月頃には試験列車が走るようになるとのこと。試験列車についてはイーストアイという試験列車を走らせ、その後7月以降に試乗会を行うと聞いているが、具体的なことがわかったらお知らせしたい。

Q 山林が五反歩以上ないと木を植えるのに補助を受けられないと聞いたが五反歩以下の人はどうするか？

A 森林組合に確認したところ、個人・業者で実施する場合は、5反歩以上、森林組合で実施する場合は1反歩以上から補助対象となるとのこと。

Q 新幹線は何両編成で何人乗れるか？

A 10両編成で1両100人程度乗れる。

町長A E5系に1列3人しか乗れないスーパージーンという車両も走ると聞いている。

〔南公民館〕

Q 特別栽培の農産物の県の認定を受けているが町ではどのような推進をしているのか？

A 天間林地区では以前からみよこ米という名前で有機栽培している。推進ということで七戸町と東北町で地元の子どもたちへ食べてもらおうと教育委員会に働きかけて中部上北給食センターで10年ぐらい前から採用してもらっている。近年その他の野菜関係についても使ってもらうようにお願いしている。その他、学校関係で調理の仕方、試食してもらって地産地消についての事業を行っている。

Q 八幡下の田んぼで上流が川で下流が水路。川は護岸工事がしてあって幅があるが下流が水路なので狭まっている。大雨が降れば増水して田んぼに入っている。合併後にやるという話だったが？

A 初めて聞いた。上流が川で、下流が水路とのことだが、県の河川であれば県で対応する。現場を確認して協議して対応したい。

Q 資料の8頁農地・水・環境保全に4つの土地改良に5千万円の補助を受けていると思う。採石を道路に敷く予算が出ている。その分町からの支給分はどのくらい減ったのか？

A 支給する砕石量に変更はない。

Q 一ノ森町内会に福祉バスの待合室が無くて自分で作った。12万円かかったが町から補助がないのか？

A コミュニティバスの待合所は行政では設置していない。場所によってはスクールバス停と共有している。町内会によっては町内会独自で設置している。

Q 国道く一ノ森に向かう道路が冬期間通行止めになっている。危険箇所があるならば危険を解消すべきでないか？一本しかない道路が閉鎖になって遠回りになる。

A 国道から一ノ森の閉鎖区分は危険であれば閉鎖している。冬期間は除雪費などの関係もあり、一ノ森に限らず閉鎖している区間がある。冬季閉鎖については検討したい。

Q 赤い羽根募金で町内へ割当がきている。戸別訪問で半強制でないか？

A 赤い羽根共同募金は社会福祉協議会担当。確認して協議したい。

Q 自宅で紙くずを燃やしている人がいる。悪質だと罰金を払わなくてはいけないのか？野焼きの煙で車の通行に支障をきたしている。ゴミの出し方もマナーを守らない人がいる。見て見ぬふりでいいのか？

A ゴミの焼却は自宅ではできないので、可燃ゴミの収集日に出して欲しい。業者等には法律上罰金ということもあるが、個人には注意することになる。苦情があつた場合は社会生活課で対応しており、消防にもお願いしている。

町長A 野焼きは禁止されている。実態を調べて対処する。

Q 倉岡45番の柱に街灯を付けて欲しい。

A 現地確認して対応したい。
Q 議会を土日、夜間開催を年1回でも開催して欲しい。
A 年4回の定例会と随時臨時会を開催しているが、土日の開

催となると担当課長の出席など対応が必要となる。全国的にと開催されているようなので議長に要望があつたことを伝えたい。

Q 観光交流センターの年間維持費の額は？捻出は？

A 観光交流センターの維持管理費は確定額は申し上げられないが、一般管理費、保守管理、周辺の維持管理、人件費で2、3千万円の試算している。維持管理費の捻出は観光交流センターの2階部分で物産販売などのコーナーもあるが予想の範囲ではない。駐車場の除雪等の経費など駐車場料金とのこともあるが、今後議会と相談して進めていかなければならない。町で建設した施設の歳入と歳出がとんとんになるのは難しいと思われる。マイナス部分については町費を充てていくことになる。できるだけマイナスにならないように進めていきたい。

町長A 新幹線の駅舎、レールの固定資産税が1億5千万円以上は町の収入になるのではないかと試算している。

Q 農業委員会で農地法4条、5条の申請時、担当者から添付書類を追加されることがあるが法律何条に義務付けられているものか？

A コンピュータで図面管理しているが、分筆の場合、税務課に図面がない時に早急に対応するためご協力いただいている。

Q 駒踊り伝承館の周辺の環境整備。2メートル以上伸ばさないうようにと言われていたが、イチイの木が大きくなってきたので町で剪定して欲しい。

A 現地調査をして近いうちに対処する。

Q 新町長による町の今後に注目していた。自宅前の通学路の草刈も早くなり、奥州街道や秋祭りなど先頭に立ってPRするなど行動的で良い。旧七戸、旧天間林ではなく良い町へという融和性がある。プレミアム付き商品券についても、歩み寄って協力して発行されるなど町としてとても良い。

町長A 草刈は小型ロータリーが導入されスピーディーになった。今後も素早く対応したい。

Q 町で発行しているカレンダー

ーが大きすぎて使えない。情報はその都度町から来るから必要ない。

町長A 来年度のカレンダーは小さく発注し直した。必要性については逆に大きいのが欲しいという意見もあり、実態を調査して対応したい。

Q 夏まつりに今後も演歌歌手を呼ぶのか。予算削減したほうがいいのでは？

町長A 一昨年も同じ意見をいただいた。かつてのように数百万円かけているわけではなく、歌手を楽しみにして集まっている町民もおり、意見をふまえて検討する。合併前に無くした時は人が集まらなかつた経緯もありバランスを考えてすすめたい。

Q 新駅は裂織のタペストリーが印象的な駅だと思う。観光交流センターの活用として裂織体験コーナーがあればいいんじゃないか？

町長A 全国で例がない駅で観光客も注目すると思う。体験コーナーについては検討したい。

Q 南部裂織愛好会の活動場所が元消防署で、電気水道トイレが無い場所。冬は活動していな

い。環境のいいところがあればいい。

A 実態は伺っており、検討したい。

Q 駅に休憩場所があるということだが、喫茶コーナーがあればいいと思う。

町長A キヨスク程度の自販機、軽食スペースを予定している。

Q 産業文化健康まつりに出店を希望したら「農協が優先」と言われた。文化まつりのあり方は？

A 出店に関して協賛金により優先ということはない。今後、実行委員会でよりよい開催について検討していきたい。

Q 夏まつりでべごっこまつりを開催して欲しい。

A 小規模でもいいからということで、町長からも指示を受けている。今後、場所と時期を検討する。

Q すこやかクラブは体協と関係あるのか？補助がないと聞いたが体協ならば補助金があるのではないか？

町長A 高齢者の健康維持、増進を目的としている。体協とは異なる。



A 高齢者の健康作り、医療費削減のための団体。会員の会費で運営している。補助金は出していないが、軽スポーツの道具の準備、利用場所、バスの配車などで配慮している。

Q 新幹線の駅名に十和田がついたが、駅周辺整備などの負担等について十和田市から提案はないのか？

町長A 負担金などの提案はない。

Q 新幹線誘致に努力した功勞者を顕彰してほしい。

町長A 検討してみたいと思う。

Q 七戸城の復元をしてもらいたい。

町長A 中世の館は止めたわけではなく先送りである。財政状況をみて検討し、国への申請を考えた。

Q 広報のカタカナ語をやめて欲しい。

A 注意して改善する。

Q 議会だよりの『所要の改正』という表記を具体的にしてほしい。

A 議案審議の提案理由をそのまま掲載しているがわかりにくいと思うので改善したい。ただ詳細にすると紙面に納まりきらないのでご了承いただきたい。

Q 新幹線駅前国道の野辺地へ向かうバス停に待合室がない。

A 美術館前の十和田市に向かう待合室は町内会で設置したもので町で設置していない。野辺地に向かうバス待合室については十和田観光電鉄へ要望していきたい。

Q 道の駅前の町道に歩行者用信号機がない。

町長A 公安委員会に要望したい。



まちのできごと あれこれ



大規模災害に備えて ～応急対策業務に関する協定締結～

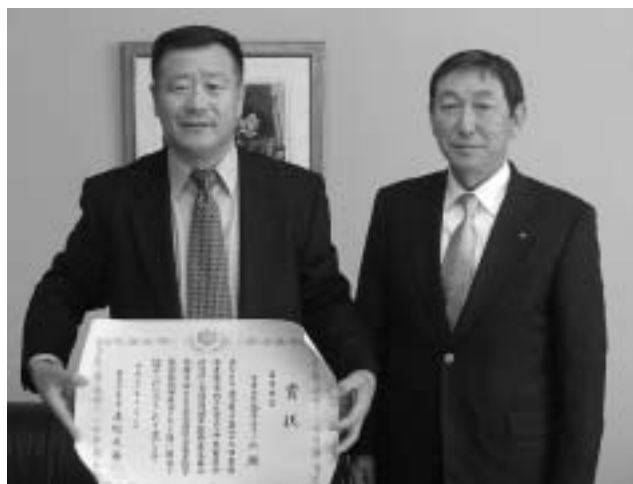
このたび大規模災害時に備えて、町は東北電力十和田営業所及び上北森林組合と災害時における協定を締結しました。内容は、東北電力十和田営業所とは災害時における停電等復旧作業を円滑に対処するための協定、上北森林組合とは災害時における町内の街路樹等倒木時に対し、迅速に応急対策するなど、町民のライフラインを保持するための協定です。町では今後も大規模災害に備えた防災体制をより一層強化、充実させていきたいと考えています。



東北電力株式会社 十和田営業所 所長 工藤拓二 氏



上北森林組合 代表理事組合長 小笠原恭裕 氏



有限会社金子ファームが 農林水産大臣賞受賞報告

有限会社金子ファーム（金子春雄代表取締役）は青森県代表として出品した第49回農林水産祭『全国優良畜産経営管理技術発表会』において、畜産経営部門で健全な経営が優秀と認められ、農林水産大臣賞を受賞されました。町長へ喜びの報告に訪れた金子春雄代表取締役に、町長が「皆さんの目標となると思います。これからも頑張ってください。」と激励が送られました。

地方教育行政功労者表彰 受賞おめでとうございます

町教育委員の附田英輔さんが、文部科学大臣から平成21年度地方教育行政功労者表彰を受賞されました。

附田さんは、平成5年から現在まで旧天間林村教育委員長や七戸町教育委員を務め、長年にわたり町の教育行政の発展と充実にご尽力された功績が認められました。

受賞おめでとうございます。



平成21年度 七戸町 「子どもフォーラム」開催

町教育委員会主催の「子どもフォーラム」が12月4日、柏葉館で開催され、町内4小学校の5年生が「未来の七戸町をわたしたちは提案します!」をテーマに意見発表、意見交換を行いました。

クラスごとの発表では、七戸町の良いところを大切にしながら人、物、町づくりをしていかなければならないことや、特産品アピオスのコマーシャルソング、長いもやトマトをモチーフにしたキャラクターが提案されました。また東北新幹線七戸十和田駅開業にむけて「馬車体験」「電気自動車の活用」などが提案され、小又町長は「さまざまなアイデアが出されて嬉しい。町で構想しているものもあり、実現していきたい。」と話していました。



向町老人クラブから 手作りぞうきんを七戸中学校へ寄贈

向町老人クラブ（山本順治会長）から七戸中学校へ12月2日に手縫いのぞうきんが寄贈されました。地域の役に立ちたいという思いで始めた活動は6年目となりました。古くなったタオルや浴衣などを持ち寄り縫い上げた雑巾を、今年は300枚寄贈しました。全校生徒を前に行われた寄贈式では、向町老人クラブを代表して山本順治会長と小館タマさんから福祉委員会委員長寺沢拓仁くんに「心をこめて縫った雑巾です。一所懸命掃除してください。」と手渡されました。

上北横断道路の早期完成を求めるメッセージを発信！

上北横断道路女性の会（山田ウメ会長）は12月10日、会員9名を含む約90名の出席者による『～未来へつなぐみち～ 地域の願い「上北横断道路」2009』と題したシンポジウムを東北町の原燃テクノロジーセンターで開催しました。

昨年に続き第2回目のシンポジウムで、今年は弘前大学の日景弥生教授による講演や、ABA増田明美アナウンサー、NPO法人ACTY町田直子理事長と女性の会会員による「ふれあいトーク」が行われ、青森市と八戸市を結ぶ上北横断道路の必要性など活発な意見が出されました。

最後に出席者全員で平成29年度までに完成を求めるメッセージを唱和し、来賓の七戸町長、東北町長、おいらせ町長に熱く訴えかけました。

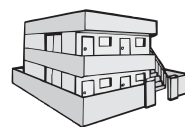
山田会長は「地域の強い思いを全国に発信し、青森県の活性化につなげたい」と話していました。



町営住宅入居者を募集します！

町では、次のとおり町営住宅入居者の募集を行います

☆募集住宅



①第2野続団地35号

- ・(住所) 字野続22・4
- ・建設年度 昭和55年度
- ・間 取 簡易耐火構造平屋建(長屋)
- ・家 賃 6・6・4.5・DK
- ・家 賃 約1万9百円

(所得により個人差あり)

②長下団地3・2号

- ・(住所) 字中野105・3
- ・建設年度 平成14年度
- ・間 取 木造平屋建(1棟2戸長屋)
- ・家 賃 9・13LD・K
- ・家 賃 約1万2千4百円

(所得により個人差あり)

③長下団地5・1号

- ・(住所) 字中野105・3
- ・建設年度 平成15年度
- ・間 取 木造平屋建(1棟2戸長屋)
- ・家 賃 9・13LD・K
- ・家 賃 約1万2千5百円

(所得により個人差あり)

④長下団地11・2号

- ・(住所) 字中野101
- ・建設年度 平成15年度
- ・間 取 木造平屋建(1棟2戸長屋)
- ・家 賃 4・5・6・8LD・K
- ・家 賃 約1万8千7百円

(所得により個人差あり)

⑤ききょう団地8・3号

- ・(住所) 字森ノ上87・1
- ・建設年度 平成7年度
- ・間 取 木造平屋建
- ・家 賃 (4戸長屋2階建て)
- ・家 賃 6・6・6・10LD・K
- ・家 賃 約1万9千3百円

(所得により個人差あり)

⑥二ツ森団地2・2号

- ・(住所) 字二ツ森家ノ表97
- ・建設年度 平成12年度
- ・間 取 木造平屋建(1棟2戸長屋)
- ・家 賃 6・6・8LD・4.5K
- ・家 賃 約1万5千7百円

(所得により個人差あり)

☆募集期間

1月12日(火)～22日(金)
土日祝日を除く

午前8時15分～午後5時まで

☆入居予定日

平成22年2月中旬～下旬予定

☆敷金

入居家賃の3ヶ月分

☆選考方法

選考委員会にて審査のうえ、多数の場合は公開抽選により決定します。

☆入居者資格

次の条件を満たしている方

1) 現に同居し、又は同居しようとする親族があること。

※ただし、以下のいずれかに該当する方は、単身での入居が可能です。

①平成21年4月1日の時点で53歳以上となっている方

②身体障害者手帳の交付を受けている、1級から4級の障害者の方

③精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている、1級から3級の障害者の方

④③に規定する精神障害の程度に相当する知的障害者の方

⑤戦傷病者手帳の交付を受けている、恩給法別表第1号表の3の第1款症以上の障害者の方

⑥原子爆弾被爆者のうち厚生労働大臣の認定を受けている方

⑦生活保護受給者の方

⑧海外からの引揚者で本邦に引き揚げた日から起算して5年を経過していない方

⑨配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(以下「DV法」)に規定する被害者で次のイ又はロのいずれかに該当する方

イ DV法の規定による一時保護または保護が終了した日から起算して5年を経過していない方

ロ DV法の規定により裁判所がした命令の申し立てを行った者で当該命令がその効力を生じた日から起算して5年を経過していない方

2) 規定された所得(概ね月158万円)以下であること。参考平成21年度所得課税証明書(入居者18歳以上全員分加算)

3) 現に住宅に困窮していることが明らかであること。

※原則として、持ち家のある方は申し込むことができません。

4) 町税等の滞納がないこと。

5) 七戸町在住の連帯保証人が2人以上あること。

☆入居申込方法

町営住宅入居申込書に必要とされる書類を添えて申込みをしてください。

☆必要書類

1) 入居申込書(印鑑持参)

2) 世帯全員分の住民票(謄本)

・七戸町役場町民課又は七戸庁舎庶務課にて申請してください。

3) ①平成21年度所得・課税証明書・②収入証明書(他市町村のみ)

・役場税務課又は支所庶務課にて申請してください。

・所得が無くても18歳以上の方(主婦・無職等)は、必要です。

4) 他市町村から申込の方は納税証明書(1通)が必要です。

☆問合せ先

建設課 ☎ 6216244

建設課 ☎ 6216244

町民課 ☎ 6812112

所得の申告を 忘れずに

申告の必要な人

平成22年1月1日現在、当町に住所があり、次に該当する人は申告が必要です。

平成21年分の所得税と町・県民税の申告相談が、2月8日(月)から3月15日(月)まで行われます。(土・日・祝祭日を除く)

公正な課税を行ううえで、非常に大切なものですので、忘れずに申告してください。また、収入の無い人でも、控除対象配偶者や扶養親族となつてゐる場合を除き、町・

県民税申告が必要となります。なお、町では混雑をさけるため相談日を指定していますので、ご協力をお願いいたします。地区別相談日は申告相談日程表のとおりです。(若干変更になる場合があります)

後日、申告相談についての案内はがきを世帯毎に郵送いたします。

※指定日でない日に来られた方は、順番が遅れることがありますのでご了承ください。

天間林地区
本庁舎2階
第1・2・3会議室

※十和田税務署では2月16日から受け付けます。

申告に必要なもの

- ① 各種事業を営んでいる人
- ② 地代、家賃収入のある人
- ③ 給与所得者で年末調整を受けていない人
- ④ 年金所得のある人
- ⑤ 生命保険の満期返戻金などの一時的な収入のある人
- ⑥ 土地や建物をお売りになった人
- ⑦ 医療費控除などの各種控除を受ける人

なお青色申告者や十和田税務署から確定申告の日時を指定されている人は、役場で申告する必要はありません。

《期 日》

七戸地区・天間林地区

同日開催

2月8日(月)～3月15日(月)

(土、日、祝祭日を除く)

《受付時間》

午前8時30分～11時

午後1時～3時30分

《会 場》

七戸地区

七戸庁舎3階 大会議室

収書や証明書

⑧ 医療費控除を受ける人は前年中に支払った領収書等

⑨ 所得税の還付や振替納税を行う場合は銀行の口座番号

還付申告をする人

住宅ローンで家屋を取得、または増築した人(一定の要件が必要となります)や、おおむね10万円を超える医療費を支払った人、年の途中で退職し、年末調整を受けていない人は、所得税が還付される場合がありますので、相談してください。還付申告には各種領収書や証明書、源泉徴収票が必要となります。

申告しないと

申告をしないと、所得証明など税金に関する一切の証明書の交付が受けられなくなるなど、大変困ることになりますので申告は忘れずに済ませましょう。

贈与税の申告

平成21年中に土地や建物を寄与又は贈与を受けた人の贈与税の申告は、2月1日から十和田

税務署で受け付けます。

消費税・地方消費税の申告

個人事業者の平成21年分の消費税及び地方消費税の確定申告書の提出期限は3月31日です。平成19年分の課税売上高が1千万円を超えている方は、平成21年分の課税事業者として消費税及び地方消費税の申告が必要です。

土地等の譲渡所得の申告など

土地や家屋などの資産を譲渡し利益が発生した場合には、その翌年の確定申告期間中に所得税の確定申告が必要となります。この土地等の譲渡所得の申告にあたっては、確定申告書第一表及び第二表のほか第三表と「譲渡所得の内訳書(確定申告書付表兼計算明細書【土地・建物用】」が必要となります。

これらの申告書等の用紙は、税務署の窓口に着付いておりませんが、インターネットをご利用可能であれば、国税庁ホームページからの印刷も可能です。

自分で書いて郵送で！

税務署では、申告納税制度の趣旨から、確定申告書等の『自書申告』を推進しております。税務署においても、ご自分で申告書などを記載していただくための相談体制を採っておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

そのほか、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」では、画面の案内に沿って金額等を入力することにより、所得税の申告書が自動計算で作成でき、印刷すればそのまま税務署に提出することができます。また、作成したデータは、e-Tax送信用のデータとして利用することができますので、是非ご利用ください。

農業申告される方へ

税務課並びに支所庶務課窓口では、簡単に農業収支計算のできる「農業申告の手引き」を備付してあります。この手引きを利用し、事前に収支計算して、まとめてくることにより、スム

ーズに確定申告手続きを終えることができますので、農業申告される予定の方については、この「農業申告の手引き」をできるだけ活用していただくことをお願いいたします。

〇問合せ

税務課

☎6812113

十和田税務署

☎2313151

障害者控除等のお知らせ

所得税の確定申告などの際、納税者又は控除対象配偶者や扶養親族が次の障害者に当てはまる場合には、所得控除を受けることができます。

- ① 身体障害者手帳又は愛護（療育）手帳をお持ちの方
- ② ①のほかに介護保険の要介護認定者で12月31日現在、要介護4・5のうち、寝たきり度が高く町が特別障害者として承認した方

全ての方が対象となるわけではありませんが、承認書の交付を希望される方は、健康福祉課（☎6813500）までご連絡ください。

平成21年分 申告相談日程表

月日	曜日	七戸地区	天間林地区
2月8日	(月)	城内	上原子1、上原子2、栗ノ木沢、白石
2月9日	(火)	城内	白金、向原子、黄金、原子、金木
2月10日	(水)	城内、新町	尾山頭、柳平、後平、曙、蒼前1、蒼前2、馬込、金沢、農場
2月12日	(金)	新町、大池、荒熊内、大沢	坪1、坪2、坪3
2月15日	(月)	大池、荒熊内、大沢、上町	小又、大沢、旭
2月16日	(火)	上町、荒中見	森ノ上、千鳥住宅、森中
2月17日	(水)	荒中見、川去、横長根	道ノ上
2月18日	(木)	川去、横長根、上川向	道ノ上、松ヶ沢、夏間木1、夏間木2、十枝内1、十枝内2
2月19日	(金)	上川向、下川向	疔1、疔2、手代森、底田、市ノ渡、栄
2月22日	(月)	下川向、倉岡川目	鳥谷部
2月23日	(火)	倉岡川目、上川目	向中野、長下住宅、中野団地、協和住宅、諏訪、原久保、十字路、中嶋
2月24日	(水)	上川目	長下、けやき団地、中野、桜木
2月25日	(木)	上川目、野沼寺	天間1、天間2
2月26日	(金)	野沼寺、東大町	天間4、ききょう団地
3月1日	(月)	東大町、蒼前	天間3、一本木
3月2日	(火)	蒼前、館野	一本木、舟場向、寺沢、長沢
3月3日	(水)	館野	石沢、狐久保
3月4日	(木)	館野、柏葉町	上野崎、中岫、花松
3月5日	(金)	柏葉町、作田川目	下野崎
3月8日	(月)	作田川目、牧場、向町	榎林1
3月9日	(火)	向町、川原町	榎林2、昭和
3月10日	(水)	川原町、南浦、横町、下町、袋町	榎林3
3月11日	(木)	袋町、小川町、新川原	二ツ森
3月12日	(金)	新川原、道地川目	甲田、李沢
3月15日	(月)	道地川目	貝塚、附田

除排雪体制にご協力をお願いします

雪国に住むわたしたちにとっては、雪とどのように向き合い暮らしていくかが重要です。冬の安全な交通の確保を目指し、除排雪を効果的・効率的に行うため町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

◎除雪車の出動時間

担当職員がパトロールで確認し、15センチメートル以上の降雪があれば、午前1時頃に出動の指示をします。除雪作業は午前2時頃から開始し、朝7時30分頃までに終了するよう行っています。しかし、天候や路上駐車など、道路の状態で作業が遅れる場合がありますのでご理解ください。また、朝方からの急な降雪により、通勤通学の時間帯と重なり、出動時間をずらすことがありますのでご理解をお願いします。



◎早く安全に除雪作業を行うためのお願い

◆家の前の除雪

除雪作業は、限られた時間で広範囲を行うため、積もった雪をかき分けることはできますが、取り除くことはできません。除雪した雪が皆さんの家の出入り口をふさいでしまうことがあります。わざと雪を置いていくわけではありませんので、玄関前などは各家庭での除雪をお願いします。



◆宅地の雪を道路に捨てないでください

宅地の雪を道路に押し出すと車道が狭くなり、道路が蛇行する原因となりますので道路には絶対に押し出さないでください。

◆路上駐車はやめましょう

路上に止めてある車両は除雪の妨げになるばかりでなく、救急車や消防車などの緊急車両も通ることができなくなるので、絶対にやめましょう。



◆踏み板、敷き鉄板は撤去してください

道路から宅地へ車を乗り入れるための踏み板、鉄板は除雪の障害になるばかりでなく、除雪車の故障の原因にもなりますので、冬期間は撤去しましょう。

○問合せ先 建設課 ☎62-6244 FAX62-6245

E-mail:kensetsu01@town.shichinohe.aomori.jp



「しつけ?」「虐待?」

「親の意図ではなく、子どもにとって有害かどうか、で判断」

多くの場合、親にとっては、虐待と思わずに「しつけ」だと主張します。

しかし、重要なポイントは親が「しつけ」だと思っても、その行為が子どもの心身を傷つけるものであれば「虐待」であるということです。

つまり、「しつけ」と「虐待」の違いは、親の意図ではなく、子どもにとって有害か、どうかで判断されるものなのです。

子育てに悩んだときには…社会生活課へ相談を。☎68-2114（直通）

平成22年度 保育園入園児募集

【対象児童】

共働き(外勤、内勤、自営業、農業)、病気、出産、同居親族を常時介護しているなどの理由で、家庭で保育できない児童。ただし、平成21年度に入所している児童で、来年度も継続する場合は申込書の提出は必要ありません。

【受付期間】平成22年1月4日(月)～1月29日(金)まで

【町内の保育園】

保育園名	所在地	電話番号	保育時間
城南保育園	天神林19-2	62-3095	7時～19時
城北保育園	蛇坂57-57	62-2090	7時～19時
明照保育園	町7	62-3223	7時～19時
道ノ上保育園	森ヶ沢280-1	68-2047	7時～19時
榎林保育園	榎林家ノ前40-1	68-2042	7時～19時
天間みどり保育園	舟場向川久保5-95	68-2142	7時～19時
平成21年度 保育料	3歳未満児最高額 32,000円 3歳以上児最高額 29,000円 前年分の所得税、前年度の住民税により算定		
施設見学	いつでも各保育園の施設見学はできます。		

【申込書類】

入園申込書、家庭状況調査書、父・母の雇用証明書、自営業・農業従事者は、地区の民生委員の証明書、病気・出産の場合はそれぞれ証明できるもの。

【申込方法】

申込書類は、各保育園、社会生活課、七戸庁舎庶務課にありますので、記入・押印のうえ、社会生活課、七戸庁舎庶務課に提出してください。入所決定については2月中に通知します。

【問合せ先】社会生活課 ☎68-2114

あなたは違法な金利をとられている!

チェックして
みてください。

- ✓大手消費者金融へ5年以上返済を続けている。
- ✓金利が25%前後だった。

上記2項目に該当した方は、過払い金が戻ってくるかもしれません。
貸金業者が倒産する前に、善は急げ!まずはお電話ください。

支払い済みでも大丈夫です!

借金の相談
無料

分かりやすい
弁護士
費用

減額報酬
いただきます。

任意整理
1社
2万5千円

ご相談はお電話で
ご予約ください。

TEL 0176

51-4317

十和田市西一番町17-6(大竹菓子舗2F)

アカシアの森法律事務所

青森県弁護士会所属 弁護士 今井 正



十和田市官庁街通りすぐ
一度の来所でOK

保健だよ

◎新型インフルエンザ情報

現在、県内においても新型インフルエンザが流行しています。今回の新型インフルエンザはほとんどの人に免疫がないため感染しやすい傾向があります。そのため、多くの学校では臨時休校や学年・学級閉鎖等の措置をとる等、学校行事や、授業等にも影響が出ています。

また、若年が罹患した場合、重症化しやすい傾向が見られます。このため、ワクチン接種は基本的には重症化の発生をできる限り減らすことを目的に実施されています。

1月からは小学校4年～6年・中学生・高校生のワクチン接種が可能となりましたのでお知らせします。

高校生については、輸入ワクチンから国産ワクチン使用へ変更となりました。

1. 接種における注意

① 予診票は、医療機関にありますので直接、接種する医療機関でご記入下さい。

② 小児慢性疾患を有する児童は

かかりつけ医で接種するようにして下さい。

③ 接種後、発熱・接種部位の腫れ等の副反応が出現した場合すみやかに接種医療機関に連絡して下さい。

④ 既に新型インフルエンザに感染した人は、ワクチン接種の必要はありません。

2. 病院に持っていくもの

① 母子健康手帳や健康保険被保険者証

② 2回目のワクチン接種時は1回目の医療機関で発行した「新型インフルエンザ予防接種済証」を持参して下さい。(但し、集団接種において接種済証は不要)

3. 接種費用

町から接種費用の助成がありますので助成額・助成方法については、各家庭に配布されている「新型インフルエンザ予防接種について」をご覧ください。

4. ワクチン接種は任意接種

ワクチン接種は重症化予防というメリットもありますが、接種後に腫れたり、発熱の症状もあり、稀に重篤な症状を引き起こす可能性もあります。これらの点をご理解した上で保護者が接種を判断することになります。

【1月の優先接種対象者】

(H21.12.18現在)

対象者の区分	接種回数	接種出来る時期	備考
小学校 4年～6年	2回	1月8日から	町で学校医の協力を得て、接種希望者に集団接種を実施。(申込者は忘れずに受けてください)
中学校	1回 (接種日に年齢13歳未満は2回)	1月8日から	
高校生 (相当の年齢)	1回	1月8日から	

◎献血のお知らせ◎

献血は、健康であれば最も身近にできるボランティアです。より多くの方のご協力をお願いします。

【日時】1月17日(日)
①10:00～12:00
②13:00～16:00

【場所】ジャスコ七戸店

上十三保健所健康相談等日程

*利用される方は、事前に予約をし、受付時間を厳守してください。

〈場所〉上十三保健所 〈問合せ〉 ☎23-4261

月 日	種 別	受付時間	対 象 等
1月 6日	エイズに関する相談	13:00～14:00	一般の方
1月20日	女性健康相談	10:00～10:30	思春期から更年期に至る女性
1月27日	精神保健福祉相談	13:00～14:00	精神・神経・飲酒等の相談
1月20日	B型肝炎及びC型肝炎検査(有料)	11:00～11:30	一般の方
1月26日	骨髄バンク登録相談	9:00～10:00	骨髄バンク登録希望者

〈場 所〉三沢市保健相談センター
〈問合せ〉 ☎52-7021

月 日	種 別	受付時間	対 象 等
1月27日	療育相談	13:00～14:00	発達障害気になる児童

◎パパ・ママスクールのお知らせ

今年度、最後のパパ・ママスクールの開催します。

参加希望の方は事前にお申し込み下さい。

*期日：1月14日(木)

*時間：18時～20時30分

(受付 17時45分～)

*内容：

① 赤ちゃん人形でお風呂の入れ方(沐浴)を体験

② パパの妊婦体験

③ 胎児の心音を聞いてみよう

④ 栄養講話(夕食試食提供)

*持参するもの：母子健康手帳

〈申込み・問合せ〉

健康福祉課 ☎6814631

◎後期高齢者の方の健診のお知らせ

平成21年度は、町の集団健診において、高血圧症、脂質異常症、糖尿病のいずれか服薬治療中の方は、特定健診(身体計測・血液・尿検査など)を受けられませんでした。平成22年度からは受診できるようになります。

これは、青森県後期高齢者医療広域連合が、生活習慣病の治療中の方に特定健診の受診希望が多いことや医療費の適正化などを理由に、対象者を見直したためです。

制度変更により、ご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんが、引き続き町の健診にお申し込みくださいますよう、ご案内申し上げます。

地域包括支援センターだより



高齢者を消費者トラブルから守ろう！
高齢者見守り情報【拡大版】

【事例1】

本格的な冬が来る前に暖房機器を点検しましょう！

2009年11月現在、暖房機器の中には、リコール社告がでている製品があります。

対象製品を使い続けると部品の不具合等により、発煙・発火に至ったり、誤作動や破損のおそれがあります。

【ワンポイントアドバイス】

- ・すぐに現在お使いの暖房機器を点検しましょう。
- ・該当する製品が見つかった場合や疑問がある場合は、メーカーやお近くの電器屋さんに関合せてください。



【事例2】

地震に備え、家具の転倒防止を！

地震による家庭でのけがの多くは、家具類の転倒・落下が原因です。

突然襲ってくる地震に備え、日頃から転倒防止のために家具の固定を行いましょう。

【ワンポイントアドバイス】

- ・固定方法には天井との間を固定する「ポール式」や壁との間を固定する「ワイヤー式」「粘着ベルト」「L字金具式」などがあります。
- ・また、食器などが飛び出さないように食器棚の観音扉に「留め金」を取り付けるという工夫も重要です。



【事例3】

頼んでもいないのに勝手にカニが送られてきた！

一人暮らしの高齢者宅に、突然宅急便でカニが届いたが、頼んだ覚えはない。訪問中のヘルパーさんが本人に聞いたところ、以前に「カニは

好きか？という電話が来て、好きだと答えただけ」という。

【ワンポイントアドバイス】

- ・電話での押し売り商法です。あいまいな返事はせず、「いらない」という意思表示をしっかりとしましょう。
- ・仮に送られて来た場合、受取ることも代金を支払う必要もありません。



◆おかしいな？と思った時は…
商品購入などによるトラブルや心配なことがあったときは、お近くの消費者センター等にご相談ください。

青森県消費者センター ＜八戸相談所＞

住所：八戸市大字尻内町字鴨田7
県八戸合同庁舎1階

☎：0178-27-3381

受付時間：9:00～17:00

休み：土日・祝日、
12/29～1/3

七戸町地域包括支援センター
(天間林保健センター内) ☎68-3500

肝疾患に関する相談窓口設置のご案内

弘前大学付属病院に肝疾患に関する相談窓口を12月8日から設置しました。

- ① 相談窓口の名称 肝疾患相談センター
- ② 相談方法 面談（事前に電話による予約が必要です）又は電話
- ③ 電話番号 0172-33-5111 内線 4020
- ④ 受付曜日 月～金曜日まで（祝日・休日 年末年始を除く）
- ⑤ 受付時間 8:30～12:00、13:00～15:00

※なお、インターフェロン治療医療費の助成や無料肝炎検査に関することは、引き続き上十三保健所（☎23-4261）または青森県保健衛生課（☎017-734-9284）において相談に応じています。

戦傷病者相談員及び戦没者遺族相談員が決まりました。

対象者に対する各種の援護・相談等をお受けしています。（期間：平成21年10月1日～平成23年9月30日）

相談員種別	氏名	住所	電話番号	担当区域
戦傷病者相談員	白山 修二	十和田市大字相坂字向切田116-1	23-5765	七戸町 十和田市
戦没者遺族相談員	和田 竹千代	東北町大字大浦字一本松179-2	56-4911	七戸町 東北町 六ヶ所村

「あおもりスポーツ拠点づくり推進事業」
平成21年度ジュニア育成事業ベースボールスクール



講師の埼玉西武ライオンズ
左から細川捕手、木村投手、武隈投手、斉藤外野手

（財）青森県体育協会と七戸町体育協会が主催で「平成21年度ジュニア育成事業ベースボールスクール」が12月5日（土）、十和田市総合体育センターで開催されました。

今年は埼玉西武ライオンズから細川亨捕手（平内町出身）、木村文和投手、武隈祥太投手、斉藤彰吾外野手を講師に迎え、上十三地区の小・中学生あわせて380人が参加。あこがれの現役プロ野球選手の実技指導に、参加した子どもた



指導者講習会で講義をする
橋本武広さん

ちは緊張しながらも基本のキャッチボールからポジション別の守備バッティングなど、少しでもプロの技術等を身につけようと真剣に受講していました。

また、七戸町出身で埼玉西武ライオンズの一軍投手コーチに就任した橋本武広さんを講師に招き、上十三地区の小・中学校野球部及びスポーツ少年団の監督、コーチを対象に指導者講習会も開催され、「子どもたちには自由にやらせて失敗させることも大切。そこから自分で考え、努力し成長する」など現役引退後、指導者及び解説者の立場から野球をみて、自身が学んだことを基に講義されました。



中学生の捕手に指導する細川捕手



小学生の投手に指導する木村投手

あなたと家族
記念日の写真は、しっかり残したい

東京のプロフォトスタジオで腕を磨いてきた当店のカメラマンなら、雑誌のモデルみたいなオシャレな写真から、定番の落ち着いた家族写真まで、お客様のご希望に合わせた撮影ができます。

写真のJICA TEL 62-2627

【ご葬儀一式】
花輪・生花・盛籠・引出物
《真心でご奉仕》
（株）七戸タクシー葬儀部
七戸町字町7-3 ☎ 62-2141
（24時間受付）

天然温泉かけ流しの湯
大浴場・サウナ・家族風呂 完備
Owl Hot Spring
おとろの湯
営業時間 AM6:00～PM10:30
七戸町道の上63-3 電話 0176(69)1124

暮らす人の数だけ、暮らしのカタチがある
だから、注文住宅で自分スタイルという贅沢を暮らす。

木の優しさが宿る心地良さと住う家
建築工房 建築工房クーム有限公司
TEL 039-2512 青森県上北郡七戸町字沢田34-5
TEL 0176-60-8166 FAX 0176-62-6073
URL > http://cumu.jp BLOG > http://ameblo.jp/cumu/

冷やしてよし。
常温でよし。
お燗でよし。

株式会社
盛田庄兵衛
七戸町字七戸230
TEL: 0176-62-2010
http://www.morishou.co.jp

創業六十年
全県有店

ミネラル類、食物繊維、カルシウム豊富
離乳食にも最適！
育ち盛りのお子様にも！
十穀米
（株）米万商店
〒039-2512 青森県上北郡七戸町字沢田34-1
0120-325987 FAX 0176-62-5122
E-mail info@yoneman.co.jp URL http://www.yoneman.jp



★新着図書を紹介★

【中央図書館】

No.	書名	著者名
1	ハッピー・リタイアメント	浅田次郎
2	魔法使いクラブ	青山七恵
3	オヤジ・エイジ・ロックンロール	熊谷達也
4	龍馬と弥太郎	童門冬二
5	転移	中島梓
6	豆本づくりのいろは —手で作る小さな本—	赤井都
7	子どもが喜ぶ！ ハッピー・イベントクッキング	葛恵子
8	であえてほんとうによかった	宮西達也 (作・絵)
9	やめて！	デビッドマクフィ(作・絵) 柳田邦男(訳)
10	パパはじどうしゃだった	角野栄子(作)
等 一般書 18冊 児童図書 17冊 (11/11～12/7 登録 (購入・寄贈分))		

【中央公民館図書室】

No.	書名	著者名
1	平和を愛する世界人として	文鮮明(著) 文鮮明師自叙伝日本 語訳出版委員会(訳)
2	なぜ若者は保守化するのか 反転する現実と願望	イミダス編集部
3	ルポ母子家庭「母」の老後、 「子」のこれから	関千枝子
4	安全なお産、安心なお産 「つながり」で築く、壊れない医療	河合蘭
5	昼が夜に負うもの	ヤスミナ・カド(著) 藤本優子(訳)
6	生きて、語り伝える	Gガリア=マルクス(著) 旦敬介(訳)
7	魔法の庭のピアノレッスン	あんびるやすこ (作・絵)
8	ねずみくんのクリスマス	さくらともこ(さく) 中村景児(え)
9	点子ちゃん	野田道子(作) 太田朋(絵)
10	ぼんこつドライブ	平田昌広(作) 平田景(絵)
等 一般書 27冊 児童書 18冊 (11/11～12/10 登録 (寄贈分))		

★今月の休館日…1日(金)、2日(土)、3日(日)、11日(月) 図書館・図書室は、祝日、年末年始を除き、土曜日・日曜日も毎日開館しています。

★図書館・図書室の開館時間変更のお知らせ…1月から土曜日・日曜日の開館時間が下記のとおり変更になります。

利用者みなさまのご理解とご協力をお願いします。【変更前】午前9時～午後6時まで → 【変更後】午前9時15分～午後6時まで

《俳句》



甲田連峰はきはき顔ちて冬に入る 山田慶子
冬に入る車窓に写る己が貌 川村亜輝子
老輔また一つ消えけり花ハツ手 高田美津子
お迎への日暮にぼつと花ハツ手 駒ヶ嶺峯
後楽の後も楽しむ茸飯 森野弘美
拳骨のよみがへりたる障子かな 工藤敦子
《川柳》「形」
定年日型崩れした父の服 陽湖
稽古事昔の教え形から 愛子
我が母校影も形も無い過疎地 征治
形良い靴が似合わぬ太い足 真平

《短歌》

放牧の牛に追われる夢に覚め 風邪の臥所に汗かきており 沢橋美沙
紅葉の燃え尽きたりし裸木の 庭走りくる初冬の日差し 宮沢崇子
ずり落ちる老眼鏡を直しつつ 文字太らせて孫に文書く 内山涼子
産直に我が子と育てしブロッコリー 安全ですと虫の穴有り 市ノ渡つま子
手品師の巧みな動きに惑はされ まなこを凝らし見つめる蠅等 疋崎アイ子
ななかまと燃え立つごとく陽に映えて 赤き赤き実は皆を魅了す 原信子
もみじをばたからものごと手にもちて 秋の野山に友と遊べり 高田洋子
氷雨ふる葱の畑のねぎ坊主 いくつ並びてまた冬来む 佐藤悠一



行政・人権相談所
開設のご案内

例えば、家族間によることや近隣関係によること、行政に関することなどでお悩みの方はお気軽にご相談下さい。相談料無料です。

○日時 1月6日(水)

9時から正午

○場所 七戸町役場2階

第3会議室

七戸庁舎1階 相談室

○相談員 行政相談委員・

人権擁護委員

《秘密厳守》

※東北町、野辺地町、六ヶ所村在住の方も相談できます。

○問合せ先 町民課 ☎68-2112

庶務課 ☎62-2111

※七戸町在住の方も、下記日程の相談を受けることができます。

—— 東北町 ——

◆日時 1月18日(月)、2月1日(月)

10時～正午

◆場所 東北町本庁舎

◆問合せ先 東北町役場役場福祉課

☎0175-63-2111

—— 野辺地町 ——

◆日時 2月2日(火) 9時～正午

◆場所 野辺地町中央公民館

◆問合せ先 野辺地町役場総務課

☎0175-64-2111

国民年金からのお知らせ

～源泉徴収票が送付されます～

国民年金・厚生年金・共済組合などの老齢年金や退職年金は、所得税法で「雑所得」とされ、所得税の課税対象となります。

源泉徴収票は、これらの年金を受けている方に昨年中に支払った年金や、年金から差し引いた所得税額などをお知らせするもので、毎年1月中旬に社会保険業務センターから送付されます。複数の年金を受けていたり、年金以外の所得のある方は、確定申告が必要となります。

それ以外にも医療費等の控除を受ける方は、この源泉徴収票を税務署等へ提出することになりますので紛失しないように気をつけてください。

源泉徴収票を紛失したり、2月になっても届かない場合は

☆青森年金事務所 ☎017-734-7499

☆ねんきんダイヤル ☎0570-05-1165 までお問合せください。

なお、障害者年金、遺族年金を受けている方は所得税が課税されませんので、源泉徴収票は発行されません。

～移動年金相談についてのお知らせ～

七戸町柏葉館、野辺地町中央公民館で行われていた移動年金相談は、青森年金事務所の都合により平成22年1月～平成22年3月までお休みとなります。お休みの間は電話による年金相談等をお受けしています。

☆青森年金事務所 (受付時間 月～金 午前8時30分～午後5時)

年金請求等の手続 ☎017-734-7498

納付書、各書類の再発行等 ☎017-734-7499

☆ねんきんダイヤル ☎0570-05-1165

受付時間 月～金 午前8時30分～午後5時15分

(ただし月曜日(月曜日が休日の場合、火曜日)は午後7時まで。第2土曜日は午前9時30分～午後4時)

年金を受けている方、これから年金を請求する方、各書類等の再発行等の問合せができますのでご利用下さい。

Earth Our Home
地球を大切に

株式会社

十和田ビルサービス



〒034-0081

青森県十和田市西十三番町37-9

TEL(0176)23-4982

FAX(0176)22-7171

七戸町
しちのへで探す

土地 建物 アパート 貸家
宅地や農地の価格調べ&空家の管理

リアルエステート三輪

場所 薬王堂七戸店様すぐそば

電話 62-6113

セピアの灯がともる
ランプの宿
池の端温泉郷

薬師本館:お一人様
3,800円

丸太小屋:お一人様
5,000円

上北郡東北町 ☎0176-56-3680

EASY REFORM
簡易リフォームのすすめ

例えば
リビング



10畳間リビング貼り替概算

●天井クロス施工共 29,500円

●カベクロス施工共 60,000円

●床ジョータン敷込み施工共

5,000円/㎡の品、グリップ工法

アンタフェルト入 88,500円

21世紀の暮らしをクリエイトする/内装工事・家具

インテリアユニオン石原

七戸町 TEL.0176-62-6511 (代)

お電話1本でスタッフがお伺いいたします。青森県知事許可(般-8)第15813号

各種ローン・クレジットカードOKです。 財団法人日本住宅リフォーム推進協議会登録番号93370359

進学教室JUMP

入試直前必修四字熟語
間違いないがし

絶対絶命 朝礼暮改

厚顔無知 大義名文 新規一転

五里夢中 大胆不適 意味慎重

主格転倒 短刀直入 危機一発

68-2898 高校受験 個別指導

http://shingaku-jump.skr.jp 七戸教室 (七戸郵便局隣)

jump@shingaku-jump.skr.jp 天間林教室 (天間林郵便局隣)

農事組合法人

あづま

上北郡七戸町字下見町105-23

TEL 0176 (62) 4936

FAX 0176 (62) 4878

平成22年度 「国有林モニター」募集

東北森林管理局は、国有林の管理・経営に皆さんの声を役立てていくため、モニターを募集しています。

○募集人員 48人

○募集期間 1月4日(月)～31日(日)

○任 期 平成22年4月～

平成23年3月

○内 容 アンケートへの回答、
国有林モニター会議への出席
応募資格、応募方法など、詳しく
はお問い合わせください。

○問合せ先

東北森林管理局 国有林モニター係

☎018-836-2274 FAX 018-836-2031

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku>

七戸町連合消防団 出初式開催のお知らせ

○日 時 1月17日(日)午前11時

○場 所 第1会場 (観閲・行進)
町道運動公園線上
第2会場 (式事)

天間林体育館

○問合せ先 総務課 ☎68-2111

しちのへ天満宮 縁日のお知らせ

学問の神様を祭っている天満宮で
縁日を開催します。あなたの願い事
を絵馬に書いてしちのへ天満宮に奉
納してみませんか。

○日 時 1月10日(日)

午前9時～午後3時

○場 所 七戸町天神林 (川向)
天満宮境内

○主 催 川向川友会

○後 援 川向敬神会

経 営 安 定 トータルサポートセミナー

○日 時 1月21日(木)

午後1時30分～午後4時30分

○場 所 上北地域県民局

○対象者 建設業経営者、農業法人
経営者、個人事業主等

○定 員 各回60名 (参加料無料)

※第2、3回目についてはチラシを
ご覧ください。

○問合せ・申込み先

県地域共同就職支援センター

☎27-6005 (旧三沢技専校)

障 が い 者 の 社会参加について考える

○日 時 1月15日(金)

午後1時30分～午後4時30分

○場 所 ホテルグランヒルつたや

○対象者 障がい者、企業、支援機
関、関係者等

○定 員 80名 (参加料無料)

○問合せ・申込み先

県地域共同就職支援センター

☎27-6005 (旧三沢技専校)

外国人観光客おもてなしセミ ナー(中国版)開催のお知らせ

外国人観光客と言葉や生活文化の
違いなどによるトラブルを避けるた
めのセミナーを開催します。

○日 時 1月21日(木)、2月18日(木)、
3月11日(木)

午後6時30分～午後8時

○会 場 柏葉館 農事研修室

○対応言語 中国語

○受 講 料 無 料

○申込〆切 1月19日(火)

○問合せ先 商工観光課 ☎62-9703

※詳細は商工観光課までお問い合わせ下さい。

『くつろぎ』って自然体で居られること
だから 家では素足の心地良さが本当の『くつろぎ』
ほっとするやさしさが 伝わる木のぬくもり
太陽の匂いに包まれた日溜まり
そんな ちょっとした贅沢忘れていませんか？

すあし暮らし

Cumu 建築工房

建築工房クーム

〒039-2512 青森県上北郡七戸町字笹田34-5
TEL.0176-60-8166 FAX.0176-62-6073
URL <http://www.cumu.jp>
BLOG <http://ameblo.jp/cumu/>

青森県特定(産業別)最低賃金改正のお知らせ

最低賃金件名	時間額	効力発生日
鉄鋼業	754円	平成21年 12月21日
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	693円	
各種商品小売業	688円	
自動車小売業	725円	
(参考) 青森県最低賃金 ※県内で働く全ての労働者に適用。	633円	平成21年 10月1日

必ずチェック 最低賃金!
使用者も 労働者も

※詳しくは青森労働局ホームページからご覧になれます。

<http://www.aomori.plb.go.jp/>

○問合せ先

青森労働局労働基準部賃金室

☎ 017-734-4114

FAX 017-734-5821

七戸町文化賞・スポーツ顕賞候補者の推薦について

今年度文化・スポーツで活躍された方で、一般・大学生について以下の規定に該当される方々がありましたら、推薦ください。なお、県内高校・町文化協会、町体育協会には推薦を依頼しています。

《表彰規定》

☆文化賞(芸術、学術)

文化賞：全国規模の展覧会、発表会等で特に顕著な業績を示したものの

文化功労賞：永年にわたり文化の向上発展に貢献したもの

文化奨励賞：文化の向上発展に貢献したもの

☆スポーツ顕賞

スポーツ功労賞：スポーツの普及振興につくしたもの

スポーツ賞・スポーツ優秀賞：競技スポーツの分野で優秀な成績を修めたもの

生涯スポーツ奨励賞：生涯スポーツの分野で優秀な成績を修めたもの

※推薦期限：1月15日(金)

○問合せ先

文化賞：

生涯学習課 ☎62-9702

スポーツ顕賞：

スポーツ振興課 ☎62-9706

1月10日は『110番の日』

110番は県内どこからかけても青森市にある警察本部につながります。110番専門の警察官が順序立てて話を聴きますので、はっきりした声で正確にお話してください。

携帯電話利用時の注意事項

◎通話中はできる限り場所を移動しない

◎場所の目標物・目印・地番など確認する

110番は、事件や事故の緊急通報ダイヤルです。相談や各種照会

警察安全相談専用電話

017-735-9110(警察本部) か #9110へ。

警察署や交番・駐在所でも受け付けます。

○問合せ先 七戸警察署 ☎62-3101

ホワイトバトル(雪合戦)のおしらせ

○日時 1月31日(日)

午前8時30分より

○場所 七戸町中央公園

○参加申込期限 1月22日(金)

○参加料 小学生 3,000円
一般 5,000円

※定員になり次第締め切りますのでお早めにお申込み下さい。

○問合せ先 商工観光課 ☎62-9703

大好評発売中
1個94円



和菓子・洋菓子・内祝い・供物



菓奉
匠撰

みやきん

〒039-2525 青森県上北郡七戸町字七戸329-1

TEL 0176-62-5100(代)

ホームページ <http://www.rakuten.co.jp/miyakin/>

<http://www.hi-net.ne.jp/miyakin/>

E-mail miyakin@hi-net.ne.jp

10日、20日、30日は

みやきん
メンバーズカード
ポイント2倍の日

毎月27日は
駒饅頭誕生日

各種印刷・DTP

ハウブンシャ
朋文社

〒039-2513 七戸町字東槻木25

☎ 62-2909 FAX 62-4434

謹賀新年

本年もよろしくお願い申し上げます。

広報

しんへ 広告募集

東奥アドシステム

〒034-0082 十和田市西二番町7-2(東奥日報社十和田支局1階)

TEL (0176) 22-0888
FAX (0176) 22-0919



平成21年11月30日現在

男 8, 708人
(- 14)
女 9, 359人
(- 7)
計 18, 067人
(- 21)
世帯数 6, 813世帯
(- 8)
()内は前月比

★交通事故

件数
6件(66件)<± 0>
傷者
9人(77人)<+ 2>
死者
0人(2人)<± 0>
()内は1月からの累計
< >内は平成20年同月比

★町内の火災

建物 0件(7件)
林野・その他 0件(9件)
()内は1月からの累計

2010年世界農林業センサス調査 にご協力ください

農業や林業を行っている農家、林家や法人を対象とした『2010年世界農林業センサス調査』を平成22年2月1日現在で行います。調査の実施に当たり、1月から2月にかけて調査員がお伺いしますので、ご協力をお願いいたします。

なお、調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確なご記入をお願いします。

農林水産省・青森県・七戸町

戸籍の窓口への掲載は、役場に届け出された時に、本人から確認できたものだけを掲載しております。

また、他町村に届け出し、「広報しちのへ」に掲載したい方は役場町民課町民係へご連絡ください。

☎ 68-2112 (内線214)

中部上北広域事業組合消防本部から救命講習会開催のお知らせ

あなたも心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)の使用法を学んでみませんか?地域の公共施設等にもAEDが配置され始めています。また、従来の心肺蘇生法は2006年8月に一部改正となりました。この機会に新しい心肺蘇生法とAEDの使用法をみんなで学びましょう。

◆中央消防署 ☎62-3141

・日時 2月7日(日)9時~12時
・募集定員 50名(受付期間 1月1日~2月5日まで)

◆上北消防署 ☎56-2119

・日時 2月14日(日)9時~12時
・募集定員 30名(受付期間 1月1日~2月12日まで)

◆東北消防署 ☎0175-63-2520

・日時 2月21日(日)9時~12時
・募集定員 30名(受付期間 1月1日~2月19日まで)

※募集定員になり次第締め切らせていただきます。

※対象は中学生以上の方になります。受講料は無料です。

※受付は、各消防署窓口で行います。電話での受付もいたします。



戸籍の窓口

11月16日~12月15日

◎お誕生おめでとうございます

子ども	母親	住所
附田 ひなた 日葵ちゃん	由喜枝さん	附田
市川 しんや 真也くん	咲都美さん	天王
高西 かのん 叶望ちゃん	聡子さん	倉越
木村 のぞみ 希ちゃん	育子さん	李沢
築田 みなみ 陽ちゃん	知美さん	中野
古内 つかさ 司牙くん	千明さん	底田
鳥谷部 ことね 采音ちゃん	春香さん	中野
野月 こより 心和ちゃん	季里子さん	荒屋

◎ご結婚おめでとうございます

(工藤 義貴さん 旭
鳥谷部 亜津沙さん 鳥谷部)

●お悔やみ申し上げます

成田 ハギさん	87歳	放森
手代森 勝康さん	75歳	手代森
天間 正雄さん	67歳	天間 4
赤節 喜一郎さん	93歳	筑田川久保
森野 廣さん	82歳	館野
坪 はよさん	93歳	坪 1
鳥谷部 フジエさん	92歳	鳥谷部
宮本 千松さん	76歳	太田野
高田 みゑさん	95歳	榎林 2
松山 やすさん	93歳	白石
似鳥 伊久子さん	52歳	天王
附田 キミエさん	73歳	榎林 1
川村 三十三さん	77歳	和田下

～子どもたちによる絵画展～
「第9回 鷹山賞児童作品展」
「第9回 地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展」

1月24日(日)まで開催中！



第9回鷹山賞児童作品展 七戸町教育長賞(中学生の部)
 「天王神社つつじ祭り」(ちぎり絵)
 種市留美子さん(青森県立七戸養護学校中学部3学年)



第9回地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展 地球環境特別賞
 「自然が元の姿に戻ってくれることを願っています」
 Sukraseranee Jirapat 12歳(タイ)

「鷹山賞児童作品展」入賞入選全123点、「地球環境」をテーマに作品を募集した「地球環境世界児童画コンテスト」から優秀作品70点を紹介！子どもたちによる絵画展を是非ご鑑賞ください。

■入館時間■

午前10時～午後5時30分（閉館は午後6時）

■12月・1月・2月の休館日■

定休日／毎週月曜日(月曜祝日の場合は翌日休館)
 年末年始／12月30日(水)～平成22年1月2日(土)
 館内整備休館／1月25日(月)～2月5日(金)

■入館料■

一般500円、高校・大学生300円、小・中学生100円
 ※20名様以上の団体、JAF会員、県民カレッジ受講者は各2割引
 ※上記入館料で「鷹山宇一の世界展」はじめ常設展もご鑑賞いただけます。

■問合せ先■ 鷹山宇一記念美術館 ☎62-5858

広げようAEDの輪

中部上北広域事業組合中央消防署では、町内24ヶ所に配置しているAED(自動体外式除細動器)の配置マップを作成、各所に掲示しています。緊急時には最寄りの施設に配置されたAEDを使うことができ、迅速な人命救助を行うことが可能となります。

また、中部上北広域事業組合消防本部では、心肺蘇生法とAEDの使用法についての救命講習会も開催しています(23頁記載)。この機会に使用法を学びましょう。

●問合せ先 中部上北広域事業組合 中央消防署 ☎62-3141

主な協力施設一覧

- ・一誠園
- ・工藤医院
- ・七戸高校
- ・七戸高校八甲田校舎
- ・七戸町役場
- ・七戸庁舎
- ・天間西小学校
- ・天間東小学校
- ・七戸小学校
- ・城南小学校
- ・天間林保健センター
- ・天間林体育館
- ・七戸体育館
- ・天間館中学校
- ・榎林中学校
- ・七戸中学校
- ・城南保育園
- ・城南ディサービスセンター
- ・高田歯科医院
- ・七戸警察署
- ・県営農大校 等に設置されています



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

●発行日 平成22年1月1日発行 発行者：七戸町企画財政課 〒039-2792 青森県上北郡七戸町字森ノ上131-4 TEL 0176-68-2117

(この広報は再生紙を使用しています。)